

令和8年度 学校推薦型選抜 社会人選抜

小論文
解答例
(80分)

注 意

1. **試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。**
2. この問題冊子は、表紙を除いて1ページあります。
3. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・汚れ、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
4. 解答用紙の定められた欄に、**氏名と受験番号を監督員の指示に従って記入してください。**
5. 解答は、解答用紙の定められたところに記入してください。
6. 色付き紙1枚は下書き用紙です。下書き用紙に書かれたものは、採点の対象とはしません。
7. 問題冊子と下書き用紙は、持ち帰ってください。

【小論文 出題意図】

以下に列挙する点をみる。

1. 文章や表で示された内容を正確に把握し、着目すべき考えやデータを正しく抽出できている。
2. インバウンドの過剰な増加によって引き起こされる問題(オーバーツーリズム問題)について、引き起こされる問題を想起することができている。
3. 想起された問題に対し、独自の考えを具体的に述べることができている。

【解答例】

- 氏名，受験番号を正確に記入すること。
- ※欄には何も記入しないこと。

解答用紙

氏名		受験番号					
----	--	------	--	--	--	--	--

図から、2003年から2012年までは訪日外国人旅行者数と出国日本人数はいずれも大きな増減は見られず、出国日本人数の方が多い状態が続いていることが読み取れる。例えば2003年には訪日外国人旅行者数は約500万人、出国日本人数は約1300万人で、出国日本人数の方が多かった。その後、訪日外国人旅行者数は緩やかに増加したが、日本から海外へ出かける人の方が多い状況は続いた。しかし、2013年以降になると訪日外国人旅行者数が急増し、2015年には約2000万人となり、出国日本人数を上回った。2019年には訪日外国人旅行者数が約3200万人、出国日本人数が約2000万人となり、両者の合計は5000万人を超えている。一方、2020年から2022年にかけては新型コロナウイルス感染症の流行で国際的な移動が制限され、両者とも急激に減少した。その後、2023年以降は回復し、2023年と2024年には訪日外国人旅行者数が出国日本人数を大きく上回っている。この背景には、移動制限の解除に加え、円安によって日本での旅行費用が相対的に安くなった影響があると考えられる。

外国人旅行者が増加し続けると、観光地や交通機関の混雑、騒音やごみの増加、宿泊費の上昇など、地域住民の生活に影響が生じる可能性がある。これはオーバーツーリズムの問題である。例えば観光客が観光地に集中すると、バスや電車が混み合い、住民が通勤や通学で利用しづらくなる。また、観光客向けの店舗や宿泊施設が増えることで生活環境が変化し、住民が住みづらいつ感じられる場合もある。外国人旅行者の増加は日本経済や地域の活性化につながる重要な要素であるが、地域住民の生活との調和を図ることも不可欠である。そのため、観光客が特定の場所や時期に集中しないよう観光地を分散させたり、観光税や入場制限などの制度を整えたりするなど、持続可能な観光の実現を目指すことが重要である。

200

400

600

800

